

# 平成29年度 財政状況資料集

## 総括表（都道府県）

都道府県名	石川県		職員の状況（※7）				区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)		歳入総額		歳入総額		実質収支比率			
グループ	B				13,000		歳入総額	537,052,547	567,888,708	実質収支比率		0.3	0.2	
人口	27年国調(人)	1,154,008					歳出総額	527,264,987	559,372,793	經常収支比率		94.2	95.2	
	22年国調(人)	1,169,788					歳入歳出差引	9,787,560	8,515,915	(※1)		(105.1)	(103.7)	
	増減率(%)	-1.3					翌年度に繰越すべき財源	8,997,493	7,759,037	標準財政規模		307,934,131	308,801,191	
							実質収支	790,067	756,878	財政力指数		0.50201	0.48499	
住民基本台帳人口(※6)	30.01.01(人)	1,150,398	特別職等	知事	1	10,200		単年度収支	33,189	-18,115	公債費負担比率		26.4	27.1
	うち日本人(人)	1,136,795		副知事	2			積立金	109	2,345	健全化判断比率			
	29.01.01(人)	1,153,627		教育長	1	8,010		繰上償還金	3,000,000	3,945,000	実質赤字比率		-	-
	うち日本人(人)	1,141,345		議会議長	1	9,100		積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率		-	-
	増減率(%)	-0.3		議会副議長	1	8,600		実質単年度収支	3,033,298	3,929,230	実質公債費比率		13.5	13.9
	うち日本人(%)	-0.4		議会議員	43	7,800		繰上償還金	3,000,000	3,945,000	将来負担比率		214.9	214.3
面積(km <sup>2</sup> )	4,186		一般職員等(※5)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	基準財政収入額	126,334,692	125,052,076	資金不足比率(※4)			
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	275			一般職員	4,353	14,003,601	3,217	基準財政需要額	249,346,909	251,782,100				
世帯数(世帯)	453,368			うち消防職員	-	-	-	標準税収入額等	158,580,531	156,838,774				
				うち技能労務職員	170	535,330	3,149	經常経費充当一般財源等	295,397,538	294,970,346				
				警察官	2,014	6,180,966	3,069	歳入一般財源等	356,291,980	353,438,000				
				教育公務員	8,196	30,085,080	3,671	地方債現在高	1,214,948,067	1,217,391,493				
				臨時職員	-	-	-	うち公的資金	225,886,219	242,041,270				
				合計	14,563	50,269,647	3,452	債務負担行為額(支出予定額)	31,218,633	18,549,975				
				ラスバイレス指数	100.2			収益事業収入	2,770,952	3,121,899				
								定額運用基金	13,767,791	13,767,149				
							土地開発基金	4,150,094	4,149,452					
							積立金現在高	66,475,528	65,136,703					
							財政調整基金	11,072,188	10,693,640					
							減債基金	44,919,376	40,837,814					
							その他特定目的基金	66,475,528	65,136,703					

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(11)	石川県公営競馬特別会計	(12)	石川県立中央病院事業会計	(16)	石川県港湾整備特別会計			(18)	石川県農業開発公社	○
(2)	石川県証紙特別会計			(13)	石川県立高松病院事業会計	(17)	石川県流域下水道特別会計			(19)	石川県林業公社	○
(3)	石川県土地取得特別会計			(14)	石川県水道用供水供給事業会計					(20)	石川県産業創出支援機構	○
(4)	石川県母子父子寡婦福祉資金特別会計			(15)	石川県港湾土地造成事業会計					(21)	石川県県民ふれあい公社	
(5)	石川県中小企業近代化資金貸付金特別会計											
(6)	石川県就農支援資金特別会計											
(7)	石川県林業改善資金特別会計											
(8)	石川県沿岸漁業改善資金特別会計											
(9)	石川県育英資金特別会計											
(10)	石川県公債管理特別会計											

(注釈) ※1：經常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

※6：人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※7：職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）					道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	163,880,011	30.5	136,375,180	48.5	普通税	163,867,798	100.0	1,180,530	
地方譲与税	19,413,000	3.6	19,413,000	6.9	法定普通税	163,097,346	99.5	1,180,530	
地方揮発油譲与税	2,101,852	0.4	2,101,852	0.7	道府県民税	49,886,980	30.4	1,180,530	
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	1,190,781	0.7	293,250	
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	39,312,587	24.0	-	
石油ガス譲与税	120,654	0.0	120,654	0.0	法人均等割	1,932,264	1.2	91,934	
航空機燃料譲与税	14,170	0.0	14,170	0.0	法人税割	4,284,004	2.6	795,346	
地方法人特別譲与税	17,176,324	3.2	17,176,324	6.1	利子割	524,709	0.3	-	
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	1,085,525	0.7	-	
地方特例交付金	498,912	0.1	498,912	0.2	株式等譲渡所得割	1,557,110	1.0	-	
地方交付税	127,127,844	23.7	122,909,230	43.7	事業税	34,342,829	21.0	-	
普通交付税	122,909,230	22.9	122,909,230	43.7	個人分	1,504,955	0.9	-	
特別交付税	4,203,351	0.8	-	-	法人分	32,837,874	20.0	-	
震災復興特別交付税	15,263	0.0	-	-	地方消費税	44,228,138	27.0	-	
(一般財源計)	310,919,767	57.9	279,196,322	99.3	不動産取得税	2,947,775	1.8	-	
交通安全対策特別交付金	315,006	0.1	315,006	0.1	道府県たばこ税	1,274,587	0.8	-	
分担金・負担金	4,343,957	0.8	-	-	ゴルフ場利用税	520,487	0.3	-	
使用料	5,989,879	1.1	1,152,076	0.4	自動車取得税	2,036,480	1.2	-	
手数料	1,861,568	0.3	-	-	軽油引取税	10,308,616	6.3	-	
国庫支出金	69,723,517	13.0	-	-	自動車税	17,550,963	10.7	-	
国有提供交付金	-	-	-	-	鉱区税	491	0.0	-	
財産収入	800,862	0.1	194,574	0.1	固定資産税特例	-	-	-	
寄附金	300,672	0.1	-	-	法定外普通税	770,452	0.5	-	
繰入金	4,365,778	0.8	-	-	目的税	12,213	0.0	-	
繰越金	8,137,476	1.5	-	-	法定目的税	12,213	0.0	-	
諸収入	45,253,065	8.4	213,557	0.1	狩猟税	12,213	0.0	-	
地方債	85,041,000	15.8	-	-	法定外目的税	-	-	-	
うち減収補填債(特例分)	5,985,000	1.1	-	-	旧法による税	-	-	-	
うち臨時財政対策債	26,442,000	4.9	-	-	合計	163,880,011	100.0	1,180,530	
歳入合計	537,052,547	100.0	281,071,535	100.0					

区分		平成29年度		平成28年度	
徴収率 (%)	現年	99.4	98.3	99.3	97.9
	計	99.0	96.2	98.9	95.3
	道府県民税 事業税	99.9	99.6	99.9	99.2

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,092,273	0.2	-	1,092,181	
総務費	36,428,877	6.9	12,920,963	23,770,476	
民生費	72,830,245	13.8	2,214,824	62,949,228	
衛生費	13,081,805	2.5	857,878	8,617,066	
労働費	1,842,972	0.3	42,903	850,773	
農林水産業費	37,566,325	7.1	21,591,867	10,020,839	
商工費	34,680,853	6.6	2,515,978	8,284,424	
土木費	73,954,941	14.0	60,485,293	13,438,117	
警察費	23,734,807	4.5	1,502,348	21,028,594	
消防費	-	-	-	-	
教育費	108,433,075	20.6	4,947,735	79,536,097	
災害復旧費	2,806,311	0.5	-	32,976	
公債費	95,258,654	18.1	-	94,142,891	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
利子割交付金	304,114	0.1	-	304,114	
配当割交付金	645,506	0.1	-	645,506	
株式等譲渡所得割交付金	924,012	0.2	-	924,012	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	
地方消費税交付金	21,953,037	4.2	-	21,953,037	
ゴルフ場利用税交付金	367,732	0.1	-	367,732	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	
自動車取得税交付金	1,359,448	0.3	-	1,359,448	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	
特別区財政調整交付金	-	-	-	-	
歳出合計	527,264,987	100.0	107,079,789	349,317,511	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	236,141,579	44.8	210,284,518	205,513,467	65.6
人件費	130,126,704	24.7	109,426,271	107,655,220	34.3
うち職員給	94,889,321	18.0	76,442,892	76,372,029	24.4
扶助費	10,829,292	2.1	6,788,427	6,788,427	2.2
公債費	95,185,583	18.1	94,069,820	91,069,820	29.0
元利償還金	95,185,087	18.1	94,069,324	91,069,324	29.0
内 うち元金	87,484,426	16.6	86,406,312	83,406,312	26.6
うち利子	7,700,661	1.5	7,663,012	7,663,012	2.4
一時借入金利子	496	0.0	496	496	0.0
その他の経費	181,237,308	34.4	128,152,880	89,884,071	28.7
物件費	19,270,371	3.7	13,303,046	12,640,016	4.0
維持補修費	6,419,351	1.2	4,771,501	4,752,632	1.5
補助費等	112,086,324	21.3	102,514,751	71,992,429	23.0
繰入金	600,937	0.1	519,276	-	-
積立金	9,766,750	1.9	6,440,403	-	-
投資及び出資金	20,909	0.0	20,909	-	-
貸付金	33,072,666	6.3	582,994	498,994	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	109,886,100	20.8	10,880,113	-	-
うち人件費	1,964,759	0.4	1,964,759	-	-
普通建設事業費	107,079,789	20.3	10,847,137	-	-
うち補助	64,965,734	12.3	2,331,562	-	-
うち単独	34,150,167	6.5	8,245,670	-	-
災害復旧事業費	2,806,311	0.5	32,976	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	527,264,987	100.0	349,317,511	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成29年度 石川県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	563,794	556,039	7,755	790	313	1,205,211	
2 石川県証紙特別会計	6,083	4,694	1,389	-	-	-	
3 石川県土地取得特別会計	1	1	-	-	-	-	
4 石川県母子父子寡婦福祉資金特別会計	134	109	25	-	7	658	
5 石川県中小企業近代化資金貸付金特別会計	951	660	291	-	1	14,195	
6 石川県就農支援資金特別会計	59	8	51	-	0	70	
7 石川県林業改善資金特別会計	196	27	169	-	0	-	
8 石川県沿岸漁業改善資金特別会計	223	3	219	-	0	-	
9 石川県育英資金特別会計	1,574	297	1,277	-	17	-	
10 石川県公債管理特別会計	161,748	161,748	-	-	94,975	-	
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							

# (3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度

石川県

人	口	1,150,398	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人		1,136,795	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積		4,186.05	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.5	%
歳入総額		537,052,547	千円	将来負担比率	214.9	%
歳出総額		527,264,987	千円	グループ	H25 C H26 C H27 C H28 C H29 B	
実質収支		790,067	千円	(年度毎)	H28 C H29 B	
標準財政規模		307,934,131	千円			
地方債現在高		1,214,948,067	千円			

● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
〔 Aグループ 1,000以上、Bグループ 0,500以上1,000未満、Cグループ 0,400以上0,500未満、Dグループ 0,300以上0,400未満、Eグループ 0,300未満 〕  
※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
※ 「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。  
※ 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

## 財政力

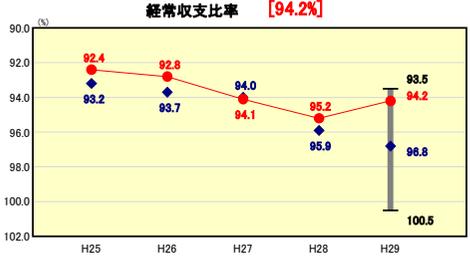


グループ内順位 21/21 都道府県平均 0.52

**財政力指数の分析欄**

景気回復による税収の増加等に伴い単年度の財政力指数が増加傾向にあり、平成29年度は、単年度の財政力指数が0.51(前年比+0.01ポイント)と上昇したことから、3年平均値も上昇した。

## 財政構造の弾力性



グループ内順位 3/21 都道府県平均 94.2

**経常収支比率の分析欄**

職員数の削減(平成14年度以降約700人)による人件費抑制に努めてきた結果、人件費分がグループ内で最も低く、比率全体もグループ平均を下回っている。さらに、平成29年度は、退職者が一時的に少なかったため、人件費が減少したことなどにより前年度から1.0ポイント改善した。  
今後とも社会保障関係経費の増加が見込まれるなど義務的経費が県財政を圧迫する厳しい状況が予想されることから、引き続き、歳入の確保や歳出全般にわたる見直しなど、行政改革に不断に取り組み、社会経済情勢の変化にも機動的に対応できる持続可能な財政運営に努めていく。

## 人件費・物件費等の状況



グループ内順位 19/21 都道府県平均 108,902

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

平成29年度は、大雪による除雪費の増加に伴い、維持補修費が前年度に比べて大幅に上昇したこと等により、人件費・物件費及び維持補修費といった人及び物にかかるコスト(退職金は含まない)は、前年度から増加した。  
今後とも、県行政の守備範囲の見直しや民間ノウハウの積極的な活用など、業務の効率化を推進し、経費の抑制を図る。

## 将来負担の状況

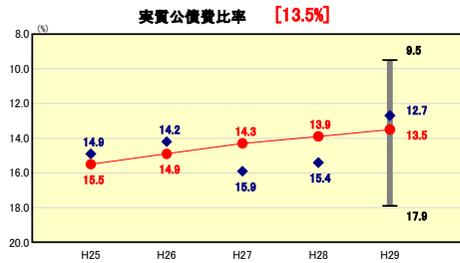


グループ内順位 18/21 都道府県平均 173.1

**将来負担比率の分析欄**

平成29年度は、県立中央病院の建替に伴い、中央病院事業会計の起債が増加し、一般会計からの繰出見込額が増加したことなどにより0.6ポイント上昇したが、県債の新規発行の抑制や繰上償還等による県債残高の減、教職員数の減少に伴う退職手当負担見込額の減により、全体として比率は減少傾向にある。

## 公債費負担の状況



グループ内順位 14/21 都道府県平均 11.4

**実質公債費比率の分析欄**

県債の新規発行の抑制や繰上償還の実施等による公債費負担の平準化の効果が現れてきており、平成29年度は比率が0.4ポイント減少した。

## 定員管理の状況

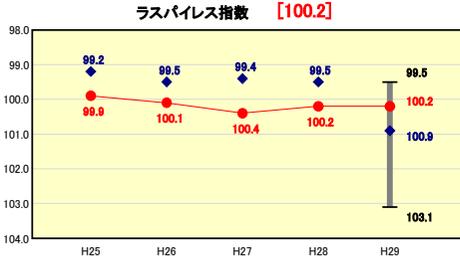


グループ内順位 20/21 都道府県平均 1,024.80

**人口10万人当たり職員数の分析欄**

職員数は、平成14年度の新行財政改革大綱の策定以降、平成27年度までに約700人を削減した結果、半世紀前の水準以下となっている。人口当たりの職員数で見ると、グループ内では人口が最も少ないため順位が低くなっているが、人口類似県の中では最も少ない職員数となっている。  
今後とも、業務のあり方を不断に見直すことにより、組織や事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、適正な定員管理に努める。

## 給与水準(国との比較)



グループ内順位 6/21 都道府県平均 100.2

**ラスパイレス指数の分析欄**

給与構造改革(平成18年度～)や給与制度の総合の見直し(平成27年度～)、採用と退職に伴う新陳代謝の促進により平均給与は下がっている。平成26年4月は99.9、平成27年4月は100.1と国とほぼ同水準となっていたが、平成27年度の給与改定で、国の俸給表に一定水準を乗じた額を加える水準調整を実施したことから、平成28年4月の指数は100.4となった。平成28・29年度の給与改定では、国家公務員の給与水準との均衡を図るため、国の改定後の俸給が本県を上回る部分(主に若年層)のみの増額改定としたため、給料改定率が国より小さくなり、平成29年4月の指数は100.2と減少している。  
今後とも、民間給与の状況や国・他県の動向等を踏まえながら、一層の給与の見直し・適正化に努めていく。

# (4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

石川県

## 経常収支比率の分析

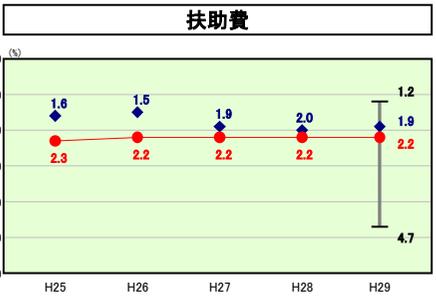
人	1,150,398	人(H30.1.1現在)	実	-	%
うち日本人	1,136,795	人(H30.1.1現在)	結	-	%
面積	4,186.05	km <sup>2</sup>	実	13.5	%
歳入総額	537,052,547	千円	実	214.9	%
歳出総額	527,264,987	千円	来		
実収支	790,067	千円	グ	H25	C
標準財政規模	307,934,131	千円	(	H28	C
地方債現在高	1,214,948,067	千円	年	H29	B

● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
T グループ内の最大値及び最小値

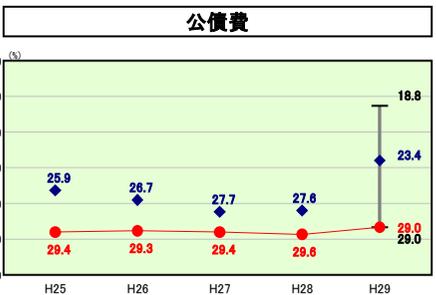
※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満〕  
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



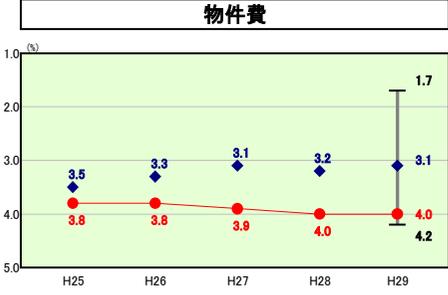
**人件費の分析欄**  
平成14年度以降取り組んできた職員数の削減(約700人削減)により、グループ内でも最も低い水準となっている。今後も業務のあり方を不断に見直すことにより定員管理を徹底し、総人件費を適正な管理に努めていく。



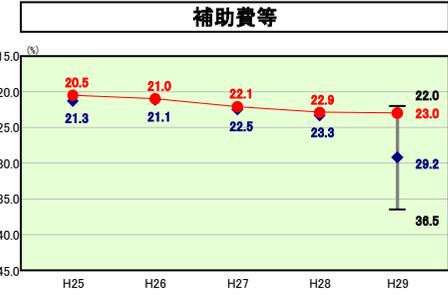
**扶助費の分析欄**  
平成29年度は、難病医療費や心身障害児保護措置費等が増加した一方で、生活保護における医療扶助費等が減少し、全体では前年度と同程度となった。今後も、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加が見込まれ、県財政を圧迫する極めて厳しい状況が予想される。



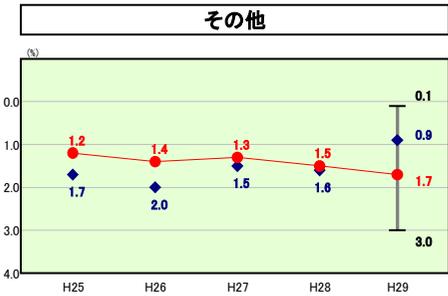
**公債費の分析欄**  
バブル経済崩壊以降、国の経済対策に呼応し、他県に比して積極的に公共投資を実施した結果、社会資本の整備は進んだものの、県債残高が増嵩しており、公債費はグループ平均より高い水準にある。今後も北陸新幹線建設等による公債費負担の本格化が見込まれることから、県債の新規発行抑制や償還期間の延長(20年→30年)、繰上償還等により公債費の平準化対策を講じ、将来の財政負担の軽減を図っている。



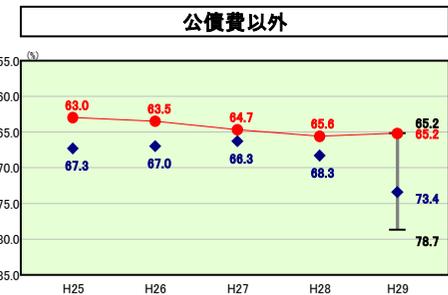
**物件費の分析欄**  
平成29年度は、前年度と同程度の水準となっている。今後とも、県行政の守備範囲の見直しや民間ノウハウの積極的な活用など、業務の効率化を推進し、経費の抑制を図る。



**補助費等の分析欄**  
平成29年度は、後期高齢者医療給付費負担金や障害者介護等給付費負担金の増加等により、前年度から0.1ポイント上昇した。今後も、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加が見込まれ、県財政を圧迫する極めて厳しい状況が予想される。



**その他の分析欄**  
平成29年度は、大雪による除雪費の大幅な増加(前年比+71.2%)により、維持補修費が増加したことから、前年度より0.2ポイント上昇した。今後も施設の老朽化に伴う維持補修費の増加が予想されることから、引き続き、歳出全般にわたる見直しに努めていく。



**公債費以外の分析欄**  
人件費がグループ内で最も低い水準となっている一方、その他の経費の合計は概ねグループ平均と同程度であることから、公債費以外の率はグループ内で最も低い水準となっている。今後も適正な定員管理や一般行政経費・投資的経費の抑制など歳出全般にわたるなお一層の見直しに努めていく。

# (4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

石川県

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
人件費	130,126,704	113,115	85,513	32.3
賃金 (物件費)	1,205,626	1,048	186	463.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	524	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	-	-	34	-
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	1,964,759	1,708	949	80.0
▲退職金	▲ 11,524,398	▲ 10,018	▲ 7,291	37.4
合計	121,772,691	105,853	79,916	32.5

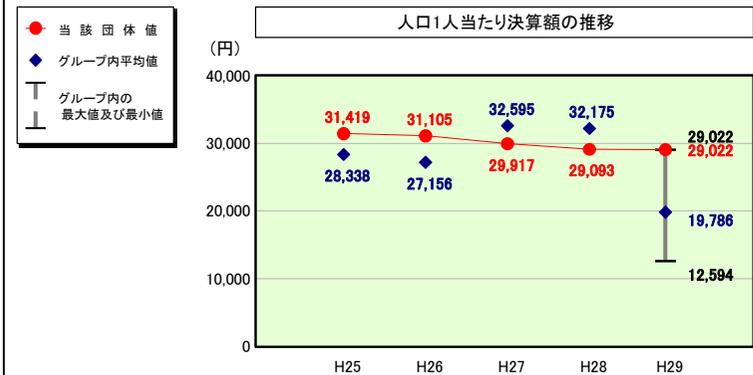
## 参考

	当該団体	グループ内平均	対比 (差引)
人口100,000人当たり職員数 (人)	1,265.91	875.35	390.56
ラスパイレス指数	100.2	100.9	▲ 0.7

(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点 (平成31年1月末時点) において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

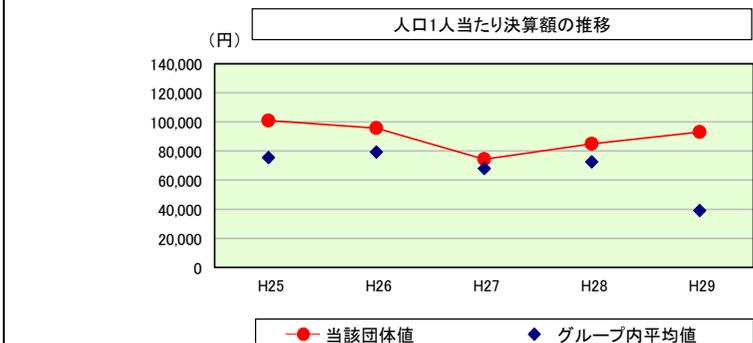
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



## 公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	92,185,087	80,133	28,123	184.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2,469	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	433,333	377	18,092	▲ 97.9
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,575,953	1,370	953	43.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	-	-	63	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	329,566	286	584	▲ 51.0
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 1,115,763	▲ 970	▲ 2,302	▲ 57.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 60,021,689	▲ 52,175	▲ 28,195	85.1
合計	33,386,487	29,022	19,786	46.7

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	グループ内平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H25	117,506,067	101,004	18.1	75,396	16.7	1.4
うち単独分	25,968,712	22,322	▲ 8.5	23,659	19.0	▲ 27.5
H26	110,951,769	95,668	▲ 5.3	79,311	5.2	▲ 10.5
うち単独分	38,209,978	32,946	47.6	22,064	▲ 6.7	54.3
H27	86,018,646	74,344	▲ 22.3	67,951	▲ 14.3	▲ 8.0
うち単独分	27,297,747	23,593	▲ 28.4	17,498	▲ 20.7	▲ 7.7
H28	97,928,284	84,887	14.2	72,635	6.9	7.3
うち単独分	30,805,150	26,703	13.2	18,276	4.4	8.8
H29	107,079,789	93,081	9.7	39,075	▲ 46.2	55.9
うち単独分	34,150,167	29,686	11.2	13,441	▲ 26.5	37.7
過去5年間平均	103,896,911	89,797	2.9	66,874	▲ 6.3	9.2
うち単独分	31,286,351	27,050	7.0	18,988	▲ 6.1	13.1

# (5) 都道府県性質別歳出決算分析表 (住民一人当たりのコスト)

平成29年度

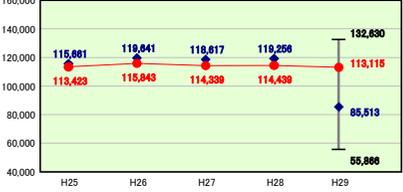
石川県

人口	1,150,398人(930.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,136,795人(930.1.1現在)	経常実質赤字比率	-	%
面積	4,189.05k㎡	実質公債費比率	13.5	%
歳入総額	537,052,547千円	実質公債費比率	214.9	%
歳出総額	527,264,987千円	将来負担比率		
実質収支	790,067千円	グ	H25	C
標準財政規模	307,934,131千円	度	H26	C
地方債現在高	1,214,946,067千円	(年	H27	C
		度	H28	C
		毎)	H29	B

● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
┆ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕  
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

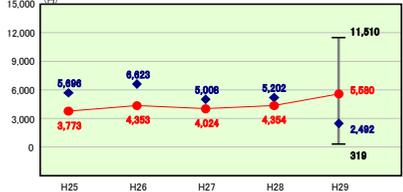
**人件費**  
グループ内順位 都道府県平均 93,613



**物件費**  
グループ内順位 都道府県平均 13,075



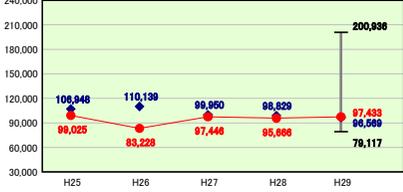
**維持補修費**  
グループ内順位 都道府県平均 3,947



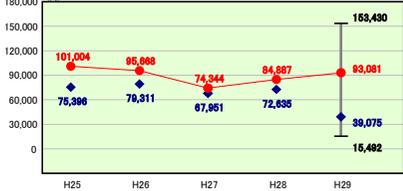
**扶助費**  
グループ内順位 都道府県平均 6,623



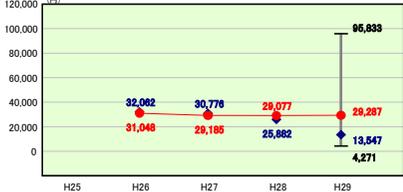
**補助費等**  
グループ内順位 都道府県平均 112,565



**普通建設事業費**  
グループ内順位 都道府県平均 55,709



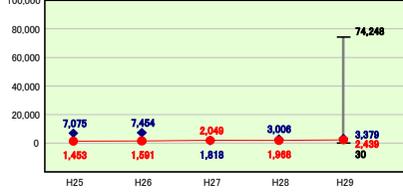
**普通建設事業費(うち新規整備)**  
グループ内順位 都道府県平均 16,410



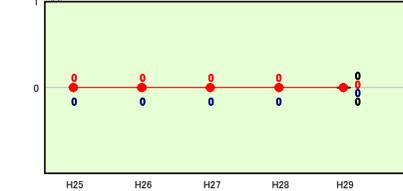
**普通建設事業費(うち更新整備)**  
グループ内順位 都道府県平均 20,340



**災害復旧事業費**  
グループ内順位 都道府県平均 4,495



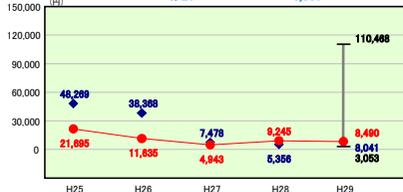
**失業対策事業費**  
グループ内順位 都道府県平均 0



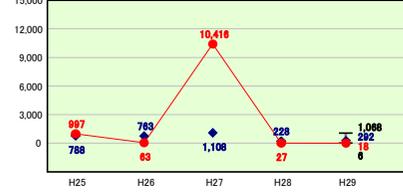
**公債費**  
グループ内順位 都道府県平均 55,289



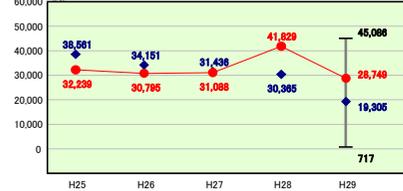
**積立金**  
グループ内順位 都道府県平均 9,981



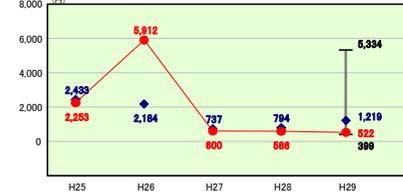
**投資及び出資金**  
グループ内順位 都道府県平均 844



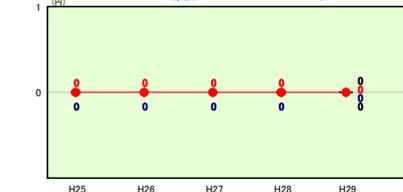
**貸付金**  
グループ内順位 都道府県平均 23,129



**繰出金**  
グループ内順位 都道府県平均 1,062



**前年度繰上充用金**  
グループ内順位 都道府県平均 0



**性質別歳出の分析**  
人件費：平成14年度以降起り続いた職員数の削減(約700人削減)等により、住民一人当たり職員数は人口類似率の中で最も少なくなっている。このため、職員数の削減は一段落したところであり、人件費は近年横ばいで推移している。  
維持補修費：平成29年度は大雪により除雪費が大幅に増加したことから、過去に比べて大幅に増加している。  
補助費等：高齢化の進展により、年々、社会保障関係経費が増加しており、増加傾向が続いている。  
普通建設事業費：国の経済対策に積極的に呼応してきたことや、北陸幹線の建設工事が進められていることなどから、グループ内でも高い水準となっている。  
公債費：ノフル経済圏域以降、国の経済対策に呼応して積極的に公共投資を実施した結果、社会資本の整備は進んだものの、グループ内で最も高い水準となっている。平成28年度は、能登半島地震復興基金の終了に伴う償還の償還(250億円)により、一時的に大幅に増加している。  
投資及び出資金：平成27年度は、いしかわ県民文化振興基金の設置に伴う出資(120億円)により、一時的に大幅に増加している。  
貸付金：平成28年度は、ほっと石川観光プラン推進ファンド創設にかかる貸付(150億円)により、一時的に大幅に増加している。  
繰出金：平成24年度から平成26年度にかけて基金からの借入金繰入に対する償還を行ったことにより高い水準となっているが、平成27年度以降は、ほぼ横ばいで推移している。

# (6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

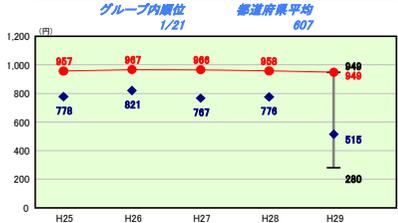
石川県

人口	1,150,398人(第30.1.1調査)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,136,795人(第30.1.1調査)	連結実質赤字比率	-	%
面積	4,189.05km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.5	%
歳入総額	537,052,547千円	実質公債費比率	214.9	%
歳出総額	527,284,987千円	得率	-	%
歳入超過	9,767,560千円	グループ	H25 C H28 C H27 C	
標準財政規模	307,934,131千円	(年度毎)	H28 C H29 B	
地方債現在高	1,214,948,087千円			

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ┆ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

議会費



総務費



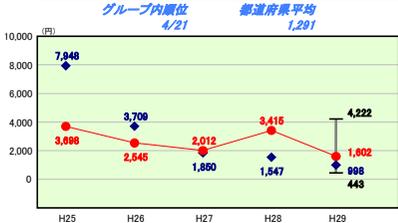
民生費



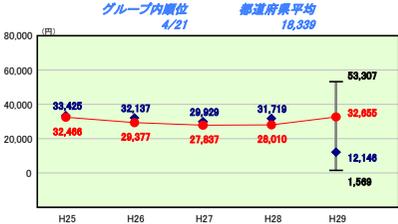
衛生費



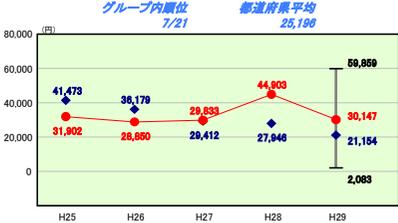
労働費



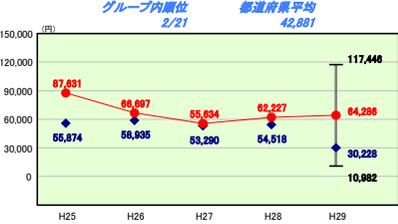
農林水産業費



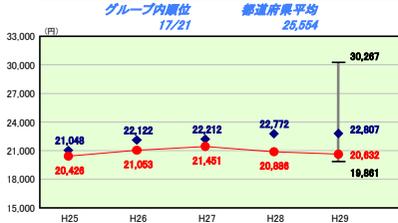
商工費



土木費



警察費



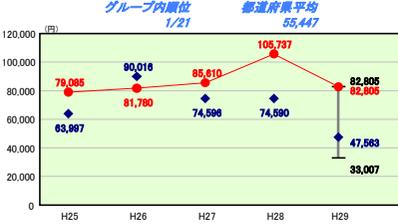
教育費



災害復旧費



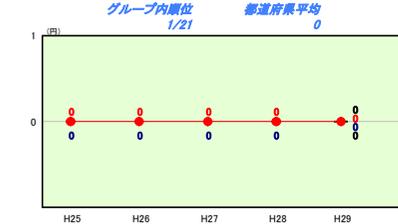
公債費



諸支出金



前年度繰上充用金



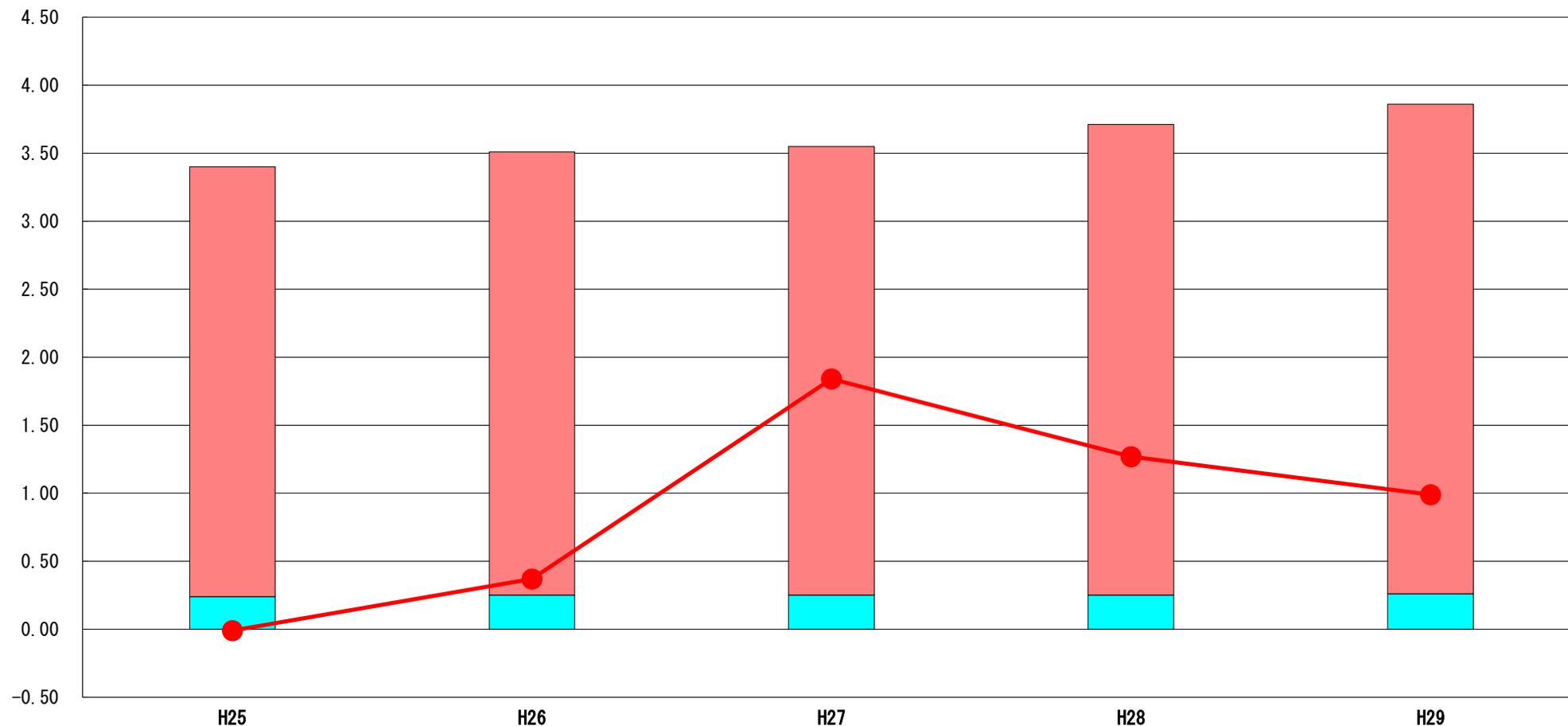
**目的別歳出の分析**  
 総務費：平成25-26年度は、国の経済対策に伴う交付金を翌年度事業に充当するための基金積立(150億円)や、並行在来線開業に伴う運行会社の鉄道資産取得に対する支援(62億円)など、臨時的な経費により一時的に大幅に増加した。平成29年度は、北陸新幹線建設費負担金の増(61億円)により増加している。  
 労働費：リーマンショック以降、雇用対策に積極的に取り組んできたが、景気の回復や雇用情勢の改善を受けて、年々事業費が減少している。平成28年度は、人材確保・定住促進基金の創設(22億円)により一時的に大幅に増加した。  
 商工費：近年横ばいで推移している。平成28年度は、ほっと石川観光プラン推進ファンド創設にかかる貸付(150億円)により、一時的に大幅に増加した。  
 土木費：国の経済対策に呼応し、積極的な公共投資を行ったことにより、平成25年度をピークに高い水準で推移している。  
 教育費：平成27年度は、いしわ県民文化振興基金の設置に伴う出資(120億円)により、一時的に大幅に増加した。  
 公債費：バブル経済崩壊以降、国の経済対策に呼応し、他県に比して積極的に公共投資を実施した結果、社会資本の整備は進んだものの、県債残高が増加しており、公債費はグループ平均より高い水準にある。平成28年度は、能登半島地震復興基金の終了に伴う県債の償還(250億円)により、一時的に大幅に増加した。  
 その他の経費：概ねグループ平均と同程度となっている。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

平成29年度

石川県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		3.16	3.26	3.30	3.46	3.60
 実質収支額		0.24	0.25	0.25	0.25	0.26
 実質単年度収支		▲ 0.01	0.37	1.84	1.27	0.99

## 分析欄

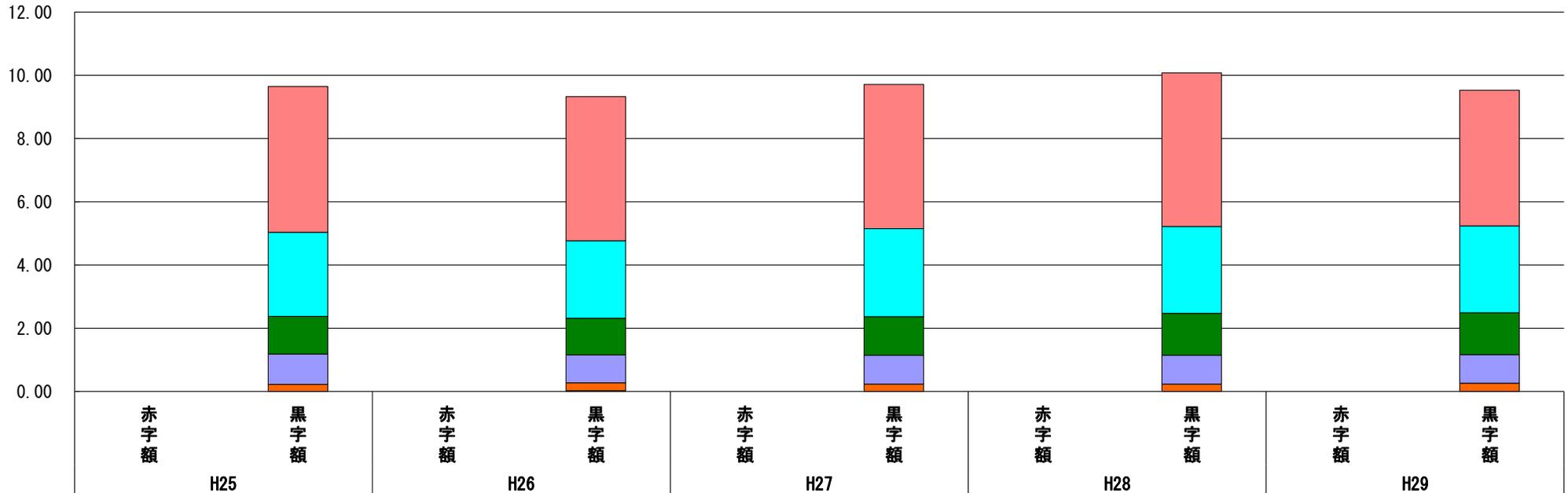
財政調整基金残高は歳計剰余金の積立（約3.8億円）により増加。実質収支は近年ほぼ横ばいで推移。実質単年度収支は、平成27年度以降、北陸新幹線金沢・敦賀間の整備に伴う公債費負担の増加を見据えた繰上償還を実施している影響で、高い水準で推移している。今後も県政の重要課題に積極的に取り組んでいくためには、持続可能な行財政基盤の確立が不可欠であり、引き続き、行財政改革に取り組んでいく。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成29年度

石川県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
石川県立中央病院事業会計		4.60	4.56	4.56	4.86	4.29
石川県水道用水供給事業会計		2.66	2.45	2.78	2.75	2.75
石川県立高松病院事業会計		1.19	1.16	1.22	1.32	1.32
石川県港湾土地造成事業会計		0.96	0.89	0.91	0.91	0.91
一般会計		0.23	0.25	0.24	0.24	0.25
石川県港湾整備特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
石川県流域下水道特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
石川県公営競馬特別会計		0.00	0.02	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

全会計で赤字は発生しておらず、健全な段階にある。

一般会計は、地方債の現在高は減少しているものの依然として高い水準であるほか、職員の大量退職に伴う退職手当も高い水準が続くと見込んでいる。これらに加え、今後、社会保障関係経費の増加により厳しい財政状況が続く見込みである。

病院事業会計（中央病院、高松病院）は、DPCⅢ群からⅡ群への格上げや新規入院患者の確保等による診療報酬の増収に努めており、黒字基調で推移している。

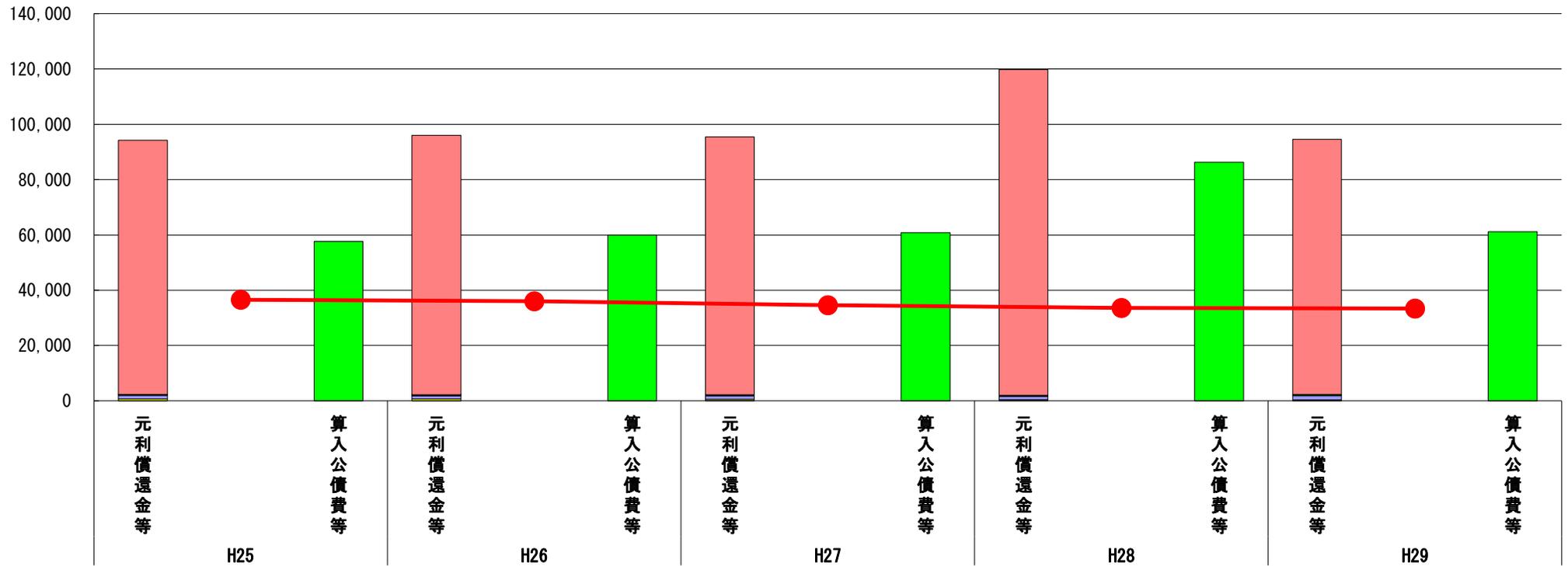
こうした厳しい財政状況の下で財政健全性を維持していくため、引き続き、歳入の確保、適正な定員管理、投資的経費の抑制といった歳出全般の見直しを行い、持続可能な財政基盤の確立を図っていく。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成29年度

石川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等 (A)	元利償還金		91,881	93,815	93,239	117,883	92,185
	減債基金積立不足算定額		3	3	3	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		333	400	400	333	433
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,299	1,174	1,273	1,181	1,576
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		676	604	507	408	330
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		57,639	59,922	60,806	86,245	61,137
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		36,553	36,074	34,616	33,563	33,387

## 分析欄

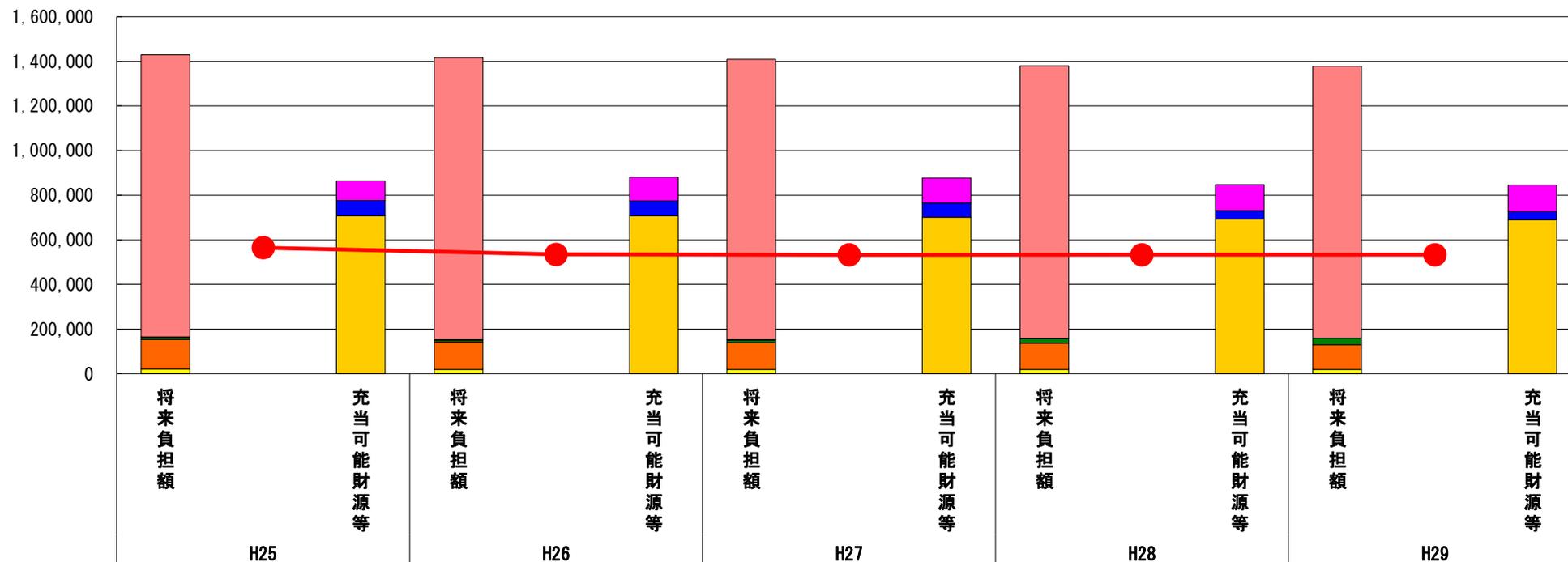
バブル経済崩壊以降、国の経済対策に呼応し、他県に比して積極的に公共投資を実施した結果、公債費負担は平成22年度にピークとなったが、県債の新規発行の抑制、償還期間の延長による平準化対策、繰上償還などにより、年々減少している。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成29年度

石川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,265,067	1,263,979	1,257,470	1,222,564	1,220,134
	債務負担行為に基づく支出予定額		2,099	1,507	1,001	593	263
	公営企業債等繰入見込額		9,015	8,575	11,645	19,760	28,824
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		133,334	122,674	120,227	117,903	110,541
	設立法人等の負債額等負担見込額		19,773	19,339	19,241	18,987	19,119
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能財源等 (B)	充当可能基金		89,375	106,218	111,961	116,211
充当可能特定歳入			68,552	68,049	63,739	36,843	36,582
基準財政需要額算入見込額			706,899	707,046	701,159	693,672	688,569
(A) - (B)	将来負担比率の分子		564,462	534,762	532,724	533,081	532,829

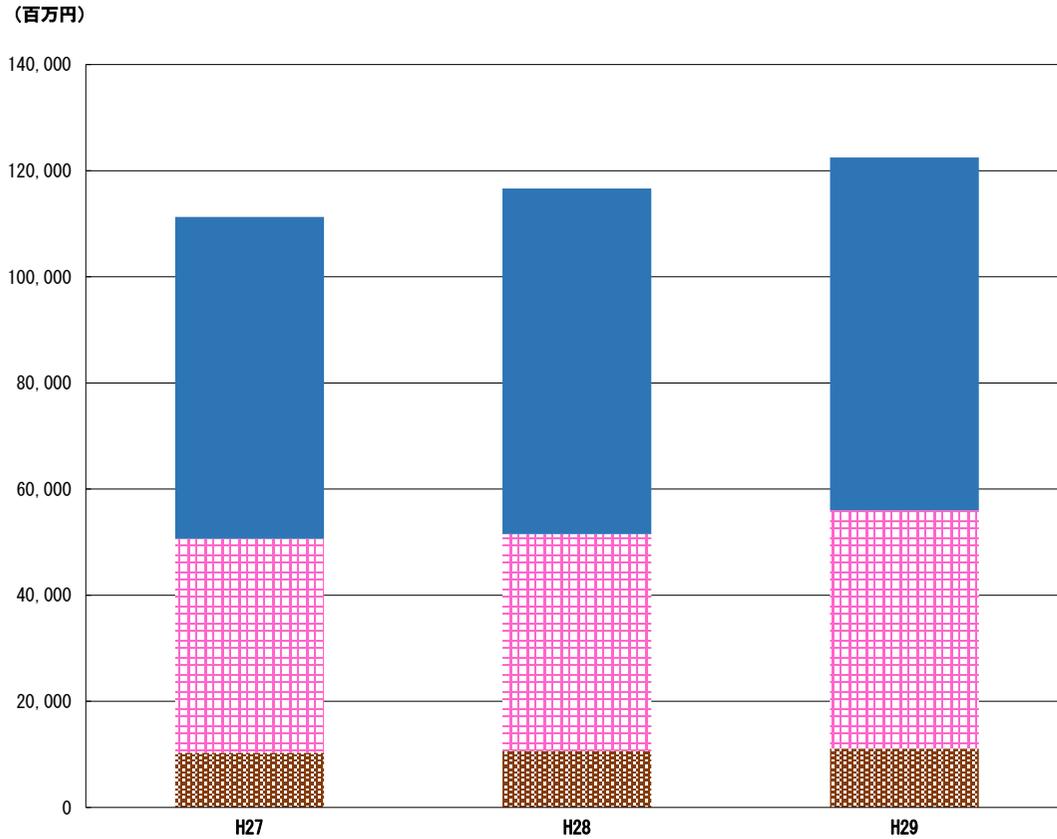
## 分析欄

臨時財政対策債を除く通常債の残高は、平成15年度以降、前年度以下の水準に抑制している。

充当可能基金は、財政調整基金への歳計剰余金の積立等により増加している。

退職手当負担見込額は、行財政改革による職員数の削減により減少している。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）



区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		10,304	10,694	11,072
減債基金		40,338	40,838	44,919
其他特定目的基金		60,652	65,137	66,476
県有施設整備基金		41,434	45,441	45,444
社会福祉事業振興基金		4,457	4,460	4,465
地域医療介護総合確保基金		2,588	3,316	3,786
国民健康保険財政安定化基金		163	489	2,042
人材確保・定住推進基金		0	2,221	2,029
基金残高合計		111,294	116,668	122,467

平成29年度

石川県

## 基金全体

(増減理由)

・減債基金で約53億円、国民健康保険財政安定化基金で約15.5億円を新規に積み立てたことなどにより、基金全体では約58億円の増となった。

(今後の方針)

・平成16年度の三位一体改革による地方交付税の削減や平成20年度のリーマン・ショックによる税収減により、財政調整基金・減債基金の2基金について、平成23年度までの10年間で396億円の取崩を余儀なくされ、未だ取崩前の水準に回復していない状況である。  
 ・今後は、北陸新幹線金沢・敦賀間の整備の本格化など様々な財政需要が見込まれているため、引き続き、将来への備えとして必要な資金を基金に積み立てるとともに、現在保有している基金は、県民生活の向上や本県のさらなる発展につながるよう、その時々々の財政状況も踏まえながら有効に活用していく。

## 財政調整基金

(増減理由)

・決算剰余金を約3.8億円積み立てたことによる増加。

(今後の方針)

・災害への備えなど、長期的視野に立った健全な財政運営を図るため、引き続き、基金の確保に努めていく。

## 減債基金

(増減理由)

・今後の公債費の増加に備え、新規に積立を行ったことにより、約41億円の増加。

(今後の方針)

・今後、数年間という短期間で、北陸新幹線金沢・敦賀間の整備に伴う建設費負担が本格化し、これに伴う公債費負担も増加することが見込まれるため、こうした状況に備え、必要な資金を基金に積み立てていく。

## 其他特定目的基金

(基金の使途)

・国民健康保険財政安定化基金：国民健康保険の財政の安定化を図る。  
 ・地域医療介護総合確保基金：地域の医療・介護の総合的な確保を図る。

(増減理由)

・国民健康保険財政安定化基金：国民健康保険の制度見直しにより、運営主体が都道府県に移管したことに伴い、新たに、国の補助金を受け入れ、約15.5億円を積み立てたことによる増加。  
 ・地域医療介護総合確保基金：医療や介護施設の整備等を進めるために、国の補助金などを約20.6億円積み立てた一方、約15.9億円を取り崩したことにより、約4.7億円の増加。

(今後の方針)

・引き続き、それぞれの基金の設置目的に照らし、県民生活の向上や本県のさらなる発展につながるよう、その時々々の財政状況も踏まえながら、有効に活用していく。